

平成 29 年 度

事 業 報 告 書

## 平成29年度 事業実績

### I. 事業実績

#### (公益財団法人として)

平成29年度は、公益財団法人移行後8期目であるとともに、世田谷区(これ以降「区」という。)より受託した区立保健センター並びに区立総合福祉センターの指定管理第4期目(平成29年度～30年度)の初年度にあたる。

当財団では、区の示した外郭団体改革基本方針に沿った新実施計画(平成26年度～平成29年度)に基づき、区民の健康づくり支援やがん患者等を支える取組みの拡充、利用者視点に立った障害福祉事業の展開とともに、地域医療機関への後方支援の強化や総合福祉センターの機能移行に向けた着実な準備などに取り組んできた。また平成27年12月に策定した「保健センター経営ビジョン(第二次)」に基づく財団改革を着実に進め、新たな事業を検討、展開するとともに、区の外郭団体としてより一層の自主・自立性を高めるため、収益事業の拡充など経営基盤の安定化や信頼性の向上、経営の効率化に向けた検討も進め、財団の経営について効果的かつ効率的に取り組んだ。

一方、区民に親しまれ信頼される事業運営をめざし、ホームページに必要な法人情報(役員名簿や財務諸表、例規類集など)を常に更新するなど、公益財団法人としてのディスクロージャー(情報開示)を維持しつつ、ソーシャルネットワーキングシステム(SNS)を活用した区民への情報発信の多様化にも力を注いでいる。また、学会・研究会への発表論文を公開することで不特定多数の利益の増進という公益財団としての基本目的も果たしてきた。

なお、公益法人会計基準に従い収支相償の達成に向け公益目的事業を補完する収益事業の収入確保に努めるとともに、公認会計士による毎月の会計指導、中間期の財務状況を的確に把握するための期中監査など、経営状態の把握と年間の事業計画達成に向けた取り組みを継続、実施した。

今後も引き続いて区が策定した保健・医療・福祉の拠点を整備するための「梅ヶ丘拠点整備プラン」に基づき、平成32年度の開設をめざす新たな区立保健センターの管理運営を当法人が担っていくため、すべての区民の健康な生活と区民福祉の向上に資することを財団の存在意義としてあらためて認識し、拠点機能の強化や健康づくり事業の地域展開の拡充などを進めていくことが必要となる。また将来を見据えた先駆的な施策等に応えられる職員の育成や意識改革も課題とし、関係団体等様々な方面からの意見も取り入れ、その他の基本計画とともに財団の設立目的の達成や「保健センター経営ビジョン(第二次)」などが指し示す方向に向けて経営改革を進めているところである。

## (財団運営の状況)

区立施設の指定管理者を担う法人として、安定した運営を継続するためには、財務状況の改善が必須である。このため財務改善計画に示された効率的な事業運営や支出抑制に努め、また利用者の意見等を運営に反映させるためのアンケートを継続的に実施し、それを分析することで利用者増、収入増に向けた事業の改善に取り組んできた。また職員の世代交代に対応するため、財団の人事・組織計画に基づき契約職員の正規登用制度や定年退職後の継続雇用など、マンパワーの維持・向上に向けた整備・運用を継続して行った。

広報活動としては、区内全域の新聞折込みによる健康情報紙「げんき人」の発行をはじめ、「保健センターまつり」における実施事業の案内紹介、健康情報の提供、がん検診の過去の受診者に対する勧奨通知などを行った。さらに、ソーシャルネットワーキングシステム（SNS）を活用した区民等への情報発信を実施したほか、新規開業した医療機関や利用の少ない医療機関へ訪問し、事業の紹介や利用方法の案内を行うなど、事業PRにも力を注いだ。

事業面においては、国の新たな指針に基づく「内視鏡による胃がん検診」を開始し、区全体の円滑な内視鏡検診の実現のために「内視鏡検診運営委員会」の運営に関わるとともに、検診希望者の問合せ・申込みを一元的に対応する「胃がん検診受付センター」を区立保健センター内に新たに設置した。また、がん患者や家族等を支える中核的機能の確立をめざし、「がん相談コーナー」の対面相談や電話相談を継続して運営するとともに、就労世代の支援として社会保険労務士と看護師による「就労相談」を開設し、治療と就労の両立支援を実施した。ならびに、がん検診の「精度管理事業」においては、引き続き世田谷区が実施する5つの対策型検診の全てで精度管理に取り組むとともに、新たに胃がんリスク検査でも結果集計を実施した。その他には、MRIにおける早期アルツハイマー型認知症診断支援システム（VS RAD）の活用やCTによる歯科領域の検査を開始するなど、地域医療の後方支援機能の強化を図った。さらには、新たな区立保健センターへの高度医療機器等の導入に関する検討やこころの健康相談事業等の実施に向けた検討など、新たな事業展開を視野に計画を行った。

総合福祉センターでは、平成31年4月の同センターの廃止及び梅ヶ丘拠点への計画的かつ円滑な機能移行に向け、区との連携により策定した世田谷区立総合福祉センター機能業務移行計画に沿って個別事業移行計画の策定に取り組んだ。また、業務の引継ぎなどを着実に進めるため、梅ヶ丘拠点の民間施設棟整備・運営事業者である南東北グループから出向職員を受け入れた。

さらに、施設面では消防点検における設備の指摘事項など、適切な補修を行うとともに、利用者の安心・安全につながる改修を進めた。花と緑に溢れた保健センターをめざし、前年に引き続き花壇整備は地域区民ボランティアの協力により、利用者の視点に立ったホスピタリティ溢れる施設を実現した。さらに、環境への配慮として、環境配慮行動が進むよう総合的なECO推進に向け取り組んだ。

## 1 公益目的事業

### 公益 1 世田谷区民の健康の保持増進を図る事業 (保健センター事業)

#### (1) 区立保健センター維持管理運営事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

#### (2) がん検診事業 (定款第 4 条第 1 号事業)

##### ① 保健センター及び検診車における胃がん (エックス線及び内視鏡) 検診

40歳以上の区民を対象に、保健センターの施設内及び2台の検診車で胃X線撮影による胃がん検診を実施し、検診の結果、必要な人に対しては医療機関と連携して、精密検査の受診を勧奨するとともに、胃がん検診の精度管理を担った。また、区等との連携により内視鏡検診運営委員会の運営に関わるとともに、29年10月より胃内視鏡検査による胃がん検診を開始した。

[表 1]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃がん検診 (X線)	回数	620回	537回	86.6%	620回	641回	647回
	受診者数	11,000人	6,278人	57.1%	13,800人	10,784人	13,274人
	がん発見数	—	11人	—	—	12人 (8人)	25人 (23人)
精度管理 (精密)		1,700人	487人	28.6%	2,200人	1,164人	1,630人
胃がん検診 (内視鏡)	回数	—	20回	—	—	—	—
	受診者数	100人	106人	106.0%	—	—	—
	がん発見数	—	3人	—	—	—	—

※ 【胃エックス線検診】申込数 6,757 人(受診率 92.9%)、要精検数 915 人(要精検率 14.6%)

【胃内視鏡検診】申込数 108 人(受診率 98.1%)、要精検数 6 人(要精検率 5.6%)

※ がん発見数は平成30年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 精度管理(精密)の実績は、29年度中に記録処理を行った数である。

② 保健センターでの乳がん検診

40歳以上の区民（女性）を対象に行われている乳がん検診において、受託機関として視触診、マンモグラフィ撮影（乳房X線撮影）及び読影を実施した。

29年度は前年度と比べて、ほぼ同程度の実績となった。地域医療機関で視触診を実施した28年度受診者のマンモグラフィの受け入れを、29年度当初に臨時枠を設けて対応したものを含んだ実績である。また、視触診・マンモグラフィの同時受診については、その利便性が2年度連続での計画達成につながっている。

[表2]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
乳がん検診	回数	200回	213回	106.5%	200回	169回	169回
	マンモグラフィ	430人	340人	79.1%	300人	388人	454人
	視触診・マンモグラフィ	1,000人	1,074人	107.4%	1,000人	1,060人	958人
精度管理（精密）		80人	128人	160.0%	80人	146人	58人

※ マンモグラフィ申込数 351 人(受診率 96.9%)、要精検数 39 人(要精検率 11.5%)

※ 視触診・マンモグラフィ申込数 1,087 人(受診率 98.8%)、要精検数 136 人(要精検率 12.7%)

※ 精度管理(精密)の実績は、29年度中に記録処理を行った数である。

### (3) 健康増進事業 (定款第4条第1号事業)

#### ① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象に各種検査と医師による指導及び栄養・運動・休養の総合的な指導を含めた健康度測定を実施した。また、運動負荷測定を行い、望ましい運動強度の目安を示した運動処方による実践指導を行った。健康増進指導では、トータルな健康づくりを目指し、運動・栄養・休養指導を充実させた専門性の高い教室と体験から実践までのニーズに応じた多様な教室・講座を開催した。また、壮年期世代をターゲットにした土曜・夜間の教室を開催した。

[表3]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康度測定	回数	—	81回	—	—	83回	85回	
	人数	1,680人	1,626人	96.8%	1,680人	1,679人	1,763人	
再測定	人数(再掲)	—	37人	—	—	51人	41人	
運動負荷測定	回数	—	42回	—	—	44回	45回	
	人数	150人	135人	90.0%	150人	148人	163人	
健康増進指導	回数	—	416回	—	—	417回	424回	
	人数	10,600人	11,530人	108.8%	10,600人	11,806人	11,887人	
壮年期	回数(再掲)	48回	48回	100.0%	48回	48回	48回	

※ 健康度測定受診総数 1,626 人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理)1,299 人、栄養指導(食生活改善)1,309 人、運動指導(活動・運動方法)1,385 人を実施した。

※ 運動負荷測定受診者 135 人のうち、運動処方参加者 39 人に実践指導を行った。

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。

- ・トータルな健康づくり 172 回(参加数 3,942 人)
- ・心とからだの癒しと元気 20 回(参加数 392 人)
- ・食での健康 16 回(参加数 323 人)
- ・からだの元気 160 回(参加数 5,471 人)
- ・壮年期向け(59歳以下対象) 48 回(参加数 1,402 人)

② 保健センターから専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

(ア) 実地指導・健康づくり支援

実地指導では、各総合支所健康づくり課の健康づくり事業やまちづくりセンターなどの地域で開催される健康教室等に、運動指導員を派遣し運動指導を行った。また、地域の健康づくり活動を活発化させるため、運動指導員を自主団体の活動へ派遣し運動指導を行った。

健康づくり支援では、世田谷区生活習慣病対策検討会や世田谷区地域の食環境づくり推進部会へ運動指導員・栄養士等の専門職員を派遣した。また、長期継続自主団体を支援するため地域交流会を開催するなど、区民主体の健康づくり活動を支援した。

[表4]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実地指導	派遣数	1,100回	1,142回	103.8%	1,100回	1,102回	1,079回
	指導人数	—	18,509人	—	—	18,483人	17,704人
健康づくり支援	回数	100回	110回	110.0%	100回	102回	124回

(イ) 地域健康出前講座・壮年期対象地域講座・職場のげんき力アップ

地域健康出前講座では、健康づくり課や区内事業者等からの依頼に応じて地域へ出向き、体脂肪量や骨格筋量の測定等とともにメタボリックシンドローム予防や介護予防の意識を高める講座を開催した。また、壮年期対象地域講座では、壮年期世代が集まる児童館や公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団と連携し、59歳以下の方を対象に講座を開催した。

「職場のげんき力アッププログラム」は、事業所単位で取り組む健康づくりとして、平成26年度より開始した。29年度は手軽なセミナーから6ヶ月間にわたる継続支援など、幅広く事業者ニーズに対応する体制を整え、プログラムを提供した。

[表5]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域健康出前講座	回数	20回	18回	90.0%	30回	23回	26回
	人数	—	384人	—	—	451人	685人
壮年期対象地域講座	回数	8回	8回	100.0%	8回	8回	8回
	人数	—	118人	—	—	88人	79人
職場のげんき力アップ	件数	5社	7社	140.0%	3社	1社	0.5社

③ 健康づくりを支援するリーダーの養成・活動支援

地域で健康づくり活動を主体的に行う区民団体に対し、「せたがや元気体操リーダー」を派遣し健康づくり活動を支援した。「せたがや元気体操リーダー」は、区民ボランティアリーダーとして、保健センターの運動指導員に代わって体操等を指導する。このリーダー事業は、養成から派遣までをNPO法人健康フォーラムけやき21と協働で運営している。

29年度は、半年間に渡る第8期養成講座を開催し、11名の認定リーダーが誕生した。また、登録リーダー62名を対象に指導技術の維持向上を図るため、研修会・交流会および指導実習を実施した。

[表6]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リーダー養成	人数		10人	11人	110.0%	—	—	10人
上級リーダー養成	人数		隔年実施	—	—	10人	10人	11人
研修会(講座)	回数		10回	10回	100.0%	10回	10回	10回
研修会(指導実習)	人数		30人	29人	96.7%	30人	30人	30人
リーダー交流会	回数		6回	6回	100.0%	6回	6回	6回
リーダー実地指導	回数		320回	318回	99.4%	320回	319回	316回

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に、重度化予防のための事業として地域出張健康測定・個別相談会・実践セミナーのほか、地区医師会や国保年金課・全国健康保険協会東京支部(協会けんぽ)と連携した重症化予防対策を展開した。

[表7]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度	
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績	
地域出張健康測定・個別相談会	回数		4回	4回	100.0%	4回	4回	4回	
	人数		—	60人	—	—	73人	73人	
重度化予防の実践セミナー	回数		3回	3回	100.0%	3回	3回	4回	
	人数		—	40人	—	—	42人	50人	
重症化予防対策	集団指導	回数		3回	3回	100.0%	3回	3回	5回
		人数		—	0人	—	—	1人	0人
	派遣型集団指導	回数		5回	5回	100.0%	5回	5回	5回
		人数		—	44人	—	—	34人	5人
	個別指導	人数		20人	1人	5.0%	20人	4人	2人



#### (4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

① 各種健康イベントや健康情報の発信により地域の健康づくりの基盤を広げる

医師会、歯科医師会、薬剤師会等との共催により、健康相談・講演会、歯科衛生講習会、薬事相談を実施した。また、保健衛生知識の普及・啓発を目的として、保健センター主催・共催の講演会・講習会を実施し、公衆衛生思想の普及に努めた。

保健センター主催の講演会では、元宝塚歌劇団員の講師を招き「ボイストレーニング」を開催した。また、心の健康づくり講習会では、駒澤大学より講師を招き「座禅」を、能楽師狂言方(大藏流)より講師を招き「狂言と笑い」をテーマとした講習会を開催した。

[表8]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための 健康教室	回数		4回	4回	100.0%	4回	4回	4回
	人数		—	1,084人	—	—	1,278人	787人
区民のための 糖尿病教室	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	11人	—	—	9人	18人
歯っぴい フェスタ	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	607人	—	—	1,041人	813人
くすりと健康の つどい	回数		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
	人数		—	336人	—	—	377人	447人
薬の講演会	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	33人	—	—	20人	75人
心の健康 づくり講習会	回数		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
	人数		—	87人	—	—	95人	99人
講演会・ 講習会	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	95人	—	—	84人	64人

② 健康情報の発信と保健センターまつり

健康情報の普及・啓発を目的に様々な情報発信を行った。主として、健康情報紙「げんき人」の発行、保健センター情報コーナー掲示板およびその他チラシを配布した。

健康情報紙「げんき人」はタブロイド判の充実を図り、従来の2P仕様の発行3回に加え、情報量の増を図った4P仕様を1回発行することで、これまでの年3回から年4回発行とし、新聞折込みにより区内全域に配布したほか、区施設等の窓口を通じて区民へ配布した。

また、SNSを使った広報を開始し、若年利用者増に向けた情報発信の第一歩を踏み出した。

『元気 いいね！笑顔 いいね！保健センター いいね～！！』をテーマとしたイベント「保健センターまつり2017」を10月1日（日）に開催、健康意識の向上と保健センター事業を広く知ってもらうため、係の枠を超えた実行委員会形式で企画・運営を行った。より多くの区民へのアプローチとして、味覚・嗅覚のチェック、チアダンスやタヒチアンダンスを取り入れたエクササイズ等の体験企画、また近隣小学校等を通じての周知を行い、子ども向け体験ミッションを企画した。なお、健康づくり自主グループの長期継続表彰なども同時に実施した。

[表9]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康情報紙「げんき人」の発行	タブロイド判 2P	4回	3回	100.0%	4回	4回	3回
	タブロイド判 4P		1回		—	—	—
	A4カラー判	—	—	—	—	—	1回

発行年月日	内 容	規 格 発行部数
29. 5. 1 (第90号)	からだチェック&健康エクササイズ ほか	タブロイド判 2ページ 275,000部
29. 7. 1 (第91号)	日本人の2人に1人が「がん」と診断されています！ ほか	タブロイド判 2ページ 275,000部
29. 9. 15 (第92号)	第8回 保健センターまつり2017 特集「女性のからだ」 ほか	タブロイド判 4ページ 275,000部
30. 3. 1 (第93号)	あなたの腸年齢は？ ほか	タブロイド判 2ページ 275,000部

[表 10]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
保健センター まつり 2017	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	2,106人	—	—	1,682人	2,044人

※ 保健センターまつりにおける項目内訳は以下のとおり。

・健康講演会「検査で予防、糖尿病対策」	45人		
・長期グループ表彰式	28人	・健康クイズ・診断コーナー	280人
・やってみエクササイズ	151人	・みんなで体操!	53人
・バルーンアート	180人	・栄養チェックコーナー	136人
・味覚・嗅覚チェックコーナー	154人	・健康チェックコーナー	444人
・1日科学者体験ミッション	19人	・がん検診紹介コーナー	54人
・アロマハンドマッサージ	93人	・薬の相談コーナー	59人
・ボッチャ体験	120人	・糖尿病血液簡易測定	147人
・おなか元気プロジェクト	95人	・ホルディック&ポールウォーキング	48人

### ③ 健康教育指導と出張指導

区民の健康づくり支援を目的とし、定期的・継続的に運動を行う機会を提供するために、8種類の運動コース及び8種のマシンを用いた筋力アップトレーニングを通年で開催した。

また団体支援として、介護予防事業（筋力アップ教室、地域づくりによる介護予防、普及啓発講座）へ専門職種を派遣した。特に「地域づくりによる介護予防」は、対象を区内全域に拡大し、おもりを使った保健センターオリジナルの「世田谷いきいき体操」を地域づくりの中で広めることに努めた。その他にも区の職員厚生課の依頼による「腰痛予防講座」やまちづくりセンターなどの団体から健康増進に関する実技指導等の依頼を受けて、専門職種を派遣する出張指導を行った。

[表 11]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数		400回	394回	98.5%	400回	396回	396回
	人数		—	17,617人	—	—	17,516人	18,243人
マシン トレーニング	回数		—	1,216回	—	—	1,211回	1,211回
	人数		12,500人	14,033人	112.3%	12,500人	13,857人	13,576人

※ 運動コースでは「ゆったり気功体操」「チャレンジ太極拳」「エンジョイフラダンス」「わくわく体操」「さわやかヨガ」「すこやか体操」「ステップエアロ」「ファイティングエアロ」の8コースを実施。

[表 12]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
出張指導	筋力アップ 教室	回数	3 教室	3 教室	100.0%	2 教室	2 教室	2 教室
		人数	—	232 人	—	—	213 人	255 人
	地域づくりによる介護予防	団体数	10 団体	12 団体	120.0%	8 団体	12 団体	3 団体
	普及啓発講座	地区数	2 地区	2 地区	100.0%	2 地区	2 地区	172 人
	その他	派遣人員	40 人	33 人	82.5%	40 人	37 人	
		参加人員	—	988 人	—	—	1,196 人	2,514 人

## ④ 区内大学等との連携と地域健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学講師等と内容を協議した講習会の開催、病院の地域医療連携室等との事業関連の研修企画など、幅広い連携を図った。

また、保健センターまつりにおいて、健康づくりの活動を20年継続している区民の自主グループに対して表彰を行った。

[表 13]

事業項目	年度	29年度	
		内 容	期 日
大学等との連携		世田谷区医師会立看護高等専修学校／成人看護実習	29年05月～12月
		東京農業大学 実習受入	29年06月
		昭和女子大学 実習受入	29年09月～10月
		武蔵野大学 ヘルスプロモーション実習受入	29年09月～10月
		日本女子体育大学 実習受入	29年09月～12月
		駒澤大学仏教学部禅学科／座禅講座講師派遣	29年12月4日
		区立中里小学校／がん教育授業への協力	30年2月22日
地域健康づくり グループとの交流		長期継続グループの表彰（5団体）	29年10月1日

⑤ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。保険事業者から対象者へのアプローチを継続しているが、支援数については伸びていない。

[表 14]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数		60人	21人	35.0%	75人	18人	28人
動機づけ支援	実人数		180人	102人	56.7%	225人	95人	108人

⑥ 各種相談に対応する取組み

がん患者とその家族などに対して、がんの不安や治療などの各種相談に対応した。対面相談は、看護師による専門相談を第2・4土曜日の月2回、電話相談は毎週木曜日の月4回実施した。電話相談では月4回のうち、看護師による専門相談を第1・3週に、がん体験者によるピア相談を第2・4週に実施した。さらに29年度からは、就労世代の支援として社会保険労務士と看護師による「就労相談」を開設し、治療と就労の両立支援を10月と2月の第2・第4土曜日に実施した。

[表 15]

事業項目			年度	29年度			28年度		27年度
				計画	実績	達成率	計画	実績	実績
がん相談コーナー	対面相談	回数	24回	22回	91.7%	24回	23回	24回	
		人数	(最大受入数) 72人	21人	—	—	13人	21人	
	電話相談	回数	48回	46回	95.8%	48回	44回	47回	
		人数	(最大受入数) 144人	22人	—	—	27人	16人	
	就労相談	回数	4回	4回	100.0%	—	—	—	
		人数	(最大受入数) 8人	3人	—	—	—	—	

⑦ 新しい地域の拠点づくり

池尻2丁目に開設した区立健康増進・交流施設の指定管理者である共同事業体の構成員として、運動室「フットパル池尻」のスタッフ研修やプログラムの監修等を担当した。財団の持つ高い専門性や指導ノウハウを活用しながら、健康づくりを実践する新しい地域拠点として定着するよう分担業務に努めた。

[運動プログラムの運営サポート]

年間を通して幅広い層の区民が楽しくかつ安全に運動ができるよう、運動室のプログラムに関するアドバイスなど、運動室運営のサポート体制を維持した。

[健康相談室の運営]

健康増進にかかわる専門職を派遣し、食生活など健康に関する相談を実施した。

栄養相談会（10月9日開催） 参加45人

**公益2 心身に障害を有する区民の福祉の増進を図るために実施する事業  
(総合福祉センター事業)**

**(1) 区立総合福祉センターの維持管理運営 (定款第4条第2号事業)**

区立総合福祉センターの指定管理者として、区立総合福祉センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

**(2) 相談支援事業 (定款第4条第2号事業)**

世田谷区の委託により基幹相談支援センターを設置し、年齢・障害の種別に関わりなく、障害者(児)および家族等への相談支援を実施したが、各地域の障害者相談支援センターへの基本相談が充実してきており、当該センターへの相談件数は減少の傾向が窺われる。

また、地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として、世田谷区自立支援協議会の事務局を担うとともに、地域相談支援センター連絡会や相談支援事業者連絡会を通し、区内の相談支援体制の連携強化に取り組んだ。

さらに、テーマ別の障害者のための相談支援人材育成研修と相談支援専門員を養成するための相談支援従事者初任者研修を引き続き実施し、区の進める地域包括ケアの展開を踏まえ、地域の相談支援に従事する人材の育成を行った。

指定特定・障害児相談支援事業所については、総合福祉センターにおける障害者総合支援法による自立訓練事業や児童福祉法による児童発達支援事業の利用者を中心に、サービス等利用計画の作成とモニタリングについても実施した。

① 相談支援

[表 16]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
相談件数	実人数	200人	61人	30.5%	200人	72人	126人
	延人数	220人	151人	68.6%	220人	115人	163人

② 自立支援協議会の開催

[表 17]

事業項目	年度	29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
自立支援協議会		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
同 運営会議		12回	11回	91.7%	11回	11回	9回

③ 人材育成

[表 18]

事業項目	年度	29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
研修実施		300人	452人	150.7%	200人	376人	349人

④ 指定特定・障害児相談支援事業所の運営

[表 19]

事業項目	年度	29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
サービス等利用計画作成		840件	754件	89.8%	840件	712件	743件

### (3) 機能訓練事業（定款第4条第2号事業）

#### ① 成人機能訓練

心身に障害のある成人を対象に、障害者総合支援法に位置づけられない指導・訓練のほか、障害者総合支援法に基づく自立訓練の契約開始までの指導・訓練や契約終了後のフォローを行った。平成29年度は、グループ訓練において、年度当初に訓練修了者がおり、成人機能訓練の受け入れ枠が広がったことにより、新たに訓練を始める方の見学及び自習等が増え、実績が増加した。

[表 20]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
成人機能訓練	個別	実人数	500人	435人	87.0%	500人	454人	375人
		延人数	1,600人	1,971人	123.2%	1,600人	1,870人	1,706人
	グループ	実人数	40人	40人	100.0%	40人	29人	30人
		延人数	200人	174人	87.0%	300人	109人	199人

#### ② 障害者総合支援法 自立訓練

自立促進、生活の質の向上等を図るため、障害者総合支援法に基づく自立訓練（生活訓練・機能訓練）を実施した。平成29年度は、グループ訓練の延人数について、生活訓練で行っている知的障害を対象としたグループ訓練（なのはなグループ）の利用者が、年度当初、復職等により訓練を終了し、他施設へ移る方などが増えたため、利用人数が減少した。

[表 21]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
自立訓練	個別	実人数	70人	71人	101.4%	70人	81人	73人
		延人数	2,500人	3,364人	134.6%	2,200人	3,531人	3,132人
	グループ	実人数	50人	46人	92.0%	50人	48人	61人
		延人数	2,000人	2,116人	105.8%	2,000人	2,408人	2,334人



③ 児童機能訓練

発達遅れや障害のある乳幼児・学童を対象に、心身の豊かな成長を促し、日常生活の自立に必要な能力や社会性を育むため、相談・評価・訓練等を実施した。平成29年度は、個別評価後の集団評価対象児童の範囲を拡大するとともに、保護者の養育スキルの向上やメンタルヘルスの維持等保護者支援に取り組んだ結果、児童機能訓練の人数が増加した。

[表 22]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
観察評価							
	実人数	850件	832件	97.9%	850件	874件	2,444件
	延人数	3,000件	2,965件	98.8%	3,000件	2,782件	
児童機能訓練 (継続相談)	実人数	400人	424人	106.0%	200人	393人	348人
	延人数	800人	1,319人	164.9%	400人	1,232人	995人

④ 児童福祉法 児童発達支援事業

心身の発達遅れや障害のある乳幼児を対象に日常生活に必要な能力や社会性を育むための療育として、児童福祉法による児童発達支援事業を実施した。平成29年度は、梅ヶ丘拠点民間施設等への移行を踏まえ、発達支援、保護者支援、地域支援において多様な支援の導入、検証を行ったため、児童発達支援事業の実績が減少した。

[表 23]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
児童発達支援事業							
個別	実人数	500人	490人	98.0%	550人	502人	635人
	延人数	5,600人	4,834人	86.3%	6,200人	5,027人	6,548人
グループ	実人数	120人	133人	110.8%	120人	155人	199人
	延人数	3,150人	3,034人	96.3%	2,950人	3,289人	3,087人

#### (4) 交流等地域支援（定款第4条第2号事業）

障害のある人もない人も、地域社会で共に生き、社会参加や生活の充実が図れるように各種講習会や行事の実施など交流の場と機会を提供した。

また、児童福祉施設や障害者福祉施設等の依頼によりスタッフを派遣し、施設職員に対する技術援助や施設職員等を対象とした研修を行うなどの地域支援を実施した。

[表 24]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
交 流	講習会等参加	2,800 人	3,186 人	113.8%	2,800 人	2,441 人	2,474 人
技 術 支 援	回 数	580 回	515 回	88.8%	580 回	564 回	572 回
研 修	人 数	1,000 人	1,171 人	117.1%	1,000 人	1,254 人	758 人

## 2 収益事業

### 収益1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業 (保健センター事業)

#### (1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。

[表 25]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃								
内視鏡検査	件数	1,650件	1,164件	70.5%	1,750件	1,407件	1,493件	
病理組織検査	件数	620件	307件	49.5%	620件	419件	476件	
大腸								
内視鏡検査	件数	380件	224件	58.9%	380件	264件	329件	
病理組織検査	件数	160件	86件	53.8%	160件	102件	105件	
乳房								
一般撮影	件数	310件	180件	58.1%	310件	185件	180件	
スポット撮影	件数	30件	22件	73.3%	30件	16件	25件	
超音波検査	件数	340件	295件	86.8%	340件	228件	196件	
細胞診検査	件数	30件	14件	46.7%	30件	9件	10件	
子宮								
内視鏡検査	件数	150件	137件	91.3%	150件	128件	148件	
病理組織検査	件数	150件	137件	91.3%	150件	130件	146件	
細胞診検査	件数	150件	138件	92.0%	150件	131件	150件	
MR I 検査	件数	2,300件	1,825件	79.3%	2,300件	1,744件	1,927件	
C T 検査	件数	2,300件	1,929件	83.9%	2,300件	1,906件	1,916件	
腹部超音波検査 (腹部・甲状腺・頸動脈)	件数	280件	241件	86.1%	280件	256件	252件	
心臓								
ホルター心電図	件数	50件	36件	72.0%	50件	35件	28件	
超音波検査	件数	180件	172件	95.6%	200件	157件	144件	

## (2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。子宮がん検診の実績は、受診勧奨の拡大により受診者が増加した。また、大腸(便潜血検査)の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診との同時受診が可能となった26年度から受診者の減少が継続している。

### ① 子宮

[表 26]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
細胞診検査	頸部件数	30,000件	31,370件	104.6%	28,000件	30,839件	25,301件
	体部件数	4,000件	2,867件	71.7%	2,500件	2,745件	2,266件
	がん発見数	—	6人	—	—	16人 (10人)	18人 (9人)

※ がん発見数は平成29年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 頸部件数には不適正標本3件を含み、このほか再提出として頸部18件、体部1件の判定を実施した。

※ 頸部 検査件数 31,370人、要精検数 668人(要精検率 2.1%)

体部 検査件数 2,867人、要精検数 40人(要精検率 1.4%)

### ② 大腸

[表 27]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
便潜血検査	件数	13,000件	7,447件	57.3%	13,000件	10,442件	12,706件
	がん発見数	—	11人	—	—	21人 (12人)	17人 (15人)
精度管理(精密)		1,100件	265件	24.1%	1,100件	618件	812件

※ がん発見数は平成29年3月末日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 検査件数 7,447人、要精検数 513人(要精検率 6.9%)

※ 精度管理(精密)の実績は、29年度中に記録処理を行った数である。

### (3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、企業健診等を実施した。地区医師会で実施したがん検診の精度管理業務を拡充していく区の計画にもとづき、5つの対策型がん検診すべての精度管理について集計業務を実施しており、胃がんリスク検査の検査結果管理も新たに実施した。

[表 28]

事業項目		年度	29年度			28年度		27年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生 心臓精密検査	人数	100人	108人	108.0%	100人	140人	112人	
小中学生 結核検診精密検査	人数	250人	301人	120.4%	250人	307人	290人	
企業健診	人数	2,500人	2,277人	91.1%	2,000人	2,015人	1,948人	
個人健診	人数				400人	338人	374人	
脳ドック	人数	180人	187人	103.9%	200人	163人	198人	
動脈硬化検査	個人	450人	505人	112.2%	450人	431人	474人	
体成分分析測定	人数	100人	106人	106.0%	100人	93人	159人	
骨密度測定	人数	250人	311人	124.4%	200人	255人	244人	
医師会実施 大腸がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	47,000件	38,094件	81.1%	42,000件	61,003件	32,371件	
	精密検査 集計件数	—	1,557件	—	—	1,809件	1,382件	
医師会実施 胃がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	200件	258件	129.0%	200件	119件	212件	
	精密検査 集計件数	—	10件	—	—	27件	14件	
医師会実施 肺がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	53,000件	46,439件	87.6%	45,000件	81,609件	26,065件	
	精密検査 集計件数	—	995件	—	—	1,474件	455件	
医師会実施 子宮がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	37,000件	26,759件	72.3%	27,000件	42,057件	5,402件	
	精密検査 集計件数	—	406件	—	—	452件	58件	
医師会実施 乳がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	18,000件	17,645件	98.0%	17,000件	23,857件	5,400件	
	精密検査 集計件数	—	1,197件	—	—	1,816件	247件	
医師会実施 胃がんリスク検査集計		9,000件	12,022件	133.6%	—	—	—	

※ 医師会実施がん検診精度管理の実績は、29年度中に記録処理を行った数である。

(一次検診のデータ取得には、検診日から3か月以上の期間を要する。)

**収益 2 障害者支援者及び施設への技術提供事業  
(総合福祉センター事業)**

**(1) 住宅改造アドバイザー事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

自宅において安全で便利な日常生活が送れるように、介護保険の住宅改修費の支給を受けて、住宅の改造を行う家庭に訪問し、相談に応じるアドバイザーとして専門職員を派遣した。平成 29 年度は、派遣依頼が減少したことなどから実績は減少した。

[表 29]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改造アドバイザー派遣	回数	250 回	142 回	56.8%	300 回	163 回	202 回

**(2) 障害者施設等技術支援事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

障害のある高齢者がいる施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言・指導を行った。

[表 30]

事業項目		29年度			28年度		27年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数	50 回	58 回	116.0%	50 回	41 回	48 回